

2008年3月

各 位

教科書検定意見の撤回を求める会・関西

代 表 垣沼 陽輔

－ 映画「月桃の花」上映会と高校歴史教科書問題を考える －  
**「 4 . 1 3 シンポジウム」開催について**

拝啓 皆様の日頃のご活躍に敬意を表します。

さて、昨年3月文部科学省は、2008年度から使用される高等学校教科書の検定で、日本軍による関与なしでは起こり得なかったというまぎれもない事実にもとずいた「集団自決」の記述について「沖縄戦の実態について誤解するおそれのある表現である」との検定意見を付して、日本軍による命令・強制・誘導等の表現を削除・修正させました。

この削除・修正は戦争末期の1945年沖縄戦で起こった事実を歪めるものであり、昨年9月に11万人以上が参加した県民大会でも教科書検定の意見撤回を求める決議が採択されたこと。また、沖縄県議会で2回の決議をはじめ41市町村議会が検定意見の撤回を求める意見書を採択したことも、「検定意見」問題が引き起こしたことの重大性が明白になりました。

私たちは、この教科書検定意見の撤回を求める運動を広げるため、地域で体験者の証言ビデオ上映学習会を開催してきました。また、大阪市をはじめ各自治体の市長に「高校歴史教科書検定での沖縄戦『集団自決』に関する記載内容」への修正指示に関して各市長の意見表明を求める要望書を提出。各自治体の教育委員会には、文部科学省大臣に対し、検定意見の撤回を求めるよう請願書を提出してきました。

本年2月には、再び米兵による少女暴行事件も発生し、沖縄県に集中する米軍基地がもたらす人権侵害事件が後を絶ちません。県民が要求する米軍基地の早期撤去を促進する以外に解決の道が無いことが明らかになりました。日本政府の憲法を無視した日米軍事同盟強化路線によって沖縄県民に犠牲をこれ以上押しつけることは絶対許されないことです。

私たちは、4月13日に映画「GAMA 月桃の花」の上映と、教科書検定意見の撤回を実現させること、沖縄県が抱える米軍基地問題などをテーマにシンポジウムを開催致します。

そこで各労働組合や市民運動団体の皆様にシンポジウムへの参加を呼びかけます。

<事務局・連絡先>

全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部 垣沼陽輔（書記長）

大阪市西区川口2-4-28 ユニオン会館内

TEL-06(6538)5549 FAX-06(6583)5534

草 々